

- ・コラム「電気量考察」(杉浦 良)
- ・定休日変更のお知らせ
- ・宿泊研修 in 名古屋 報告
- ・太陽と緑の会からの助成
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

165号/2014

30th Since 1984

「電気量考察」

杉浦 良

徳島市国府町にある太陽と緑の会の、12月分（11月初めから12月初めまで）の電気使用量と太陽光発電（12月分が年間最低発電量です）による売電量を調べてみました。

新館・木内ハウス・資源ゴミ倉庫・自販機	太陽光発電売電量	作業倉庫・家具倉庫
H26年 12月分 729kwh	402kwh	314kwh
H25年 12月分 968kwh	352kwh	563kwh
H24年 12月分 1098kwh	355kwh	601kwh
H23年 12月分 1113kwh	415kwh	644kwh
H22年 12月分 1059kwh	517kwh	620kwh
H21年 12月分 1075kwh	397kwh	393kwh
H20年 12月分 1061kwh	596kwh	307kwh
H19年 12月分 1130kwh	307kwh	296kwh
H18年 12月分 1343kwh	42kwh	303kwh
H17年 12月分 0kwh	0kwh	1100kwh

平成17年（2005年）は2月末の旧館火災により、建物の復旧が出来ていないので使用量0kwhです。旧館屋根に設置していた太陽光発電パネルも全滅で、売電量は0kwh。

「パネルはそのまま崩れずに残っているからまだ使えるのと違う？」との有難い言葉も頂きましたが、そこはシリコン発電パネルの原理を知っておられる方なら誰でも解ること、PN接合が熱によりリセットされ、発電の役目を果たせません。お借りしている作業倉庫は、事務局、作業場、食堂、売場、ストックヤードと全ての機能を集中せざるをえなくなったため、一挙に使用量が増えました。



宿泊研修 in 名古屋

わっぱの会の創設者で代表の斎藤さんが、お忙しい中、貴重な時間をさいて5時間に渡り、7か所の事業所の案内をして下さいました。本当に有難いことと思います。

平成 18 年は 5000 人もの方々のご支援を受け、4 月に同じ坪数の建物が復活出来ました。今は亡き木内昭さん（元木内工務店社長）の設計・施工により、エコハウスとして見事に生まれ変わったわけです。レイアウトの手直し、備品の再発注、売場のディスプレイの再考等、朝 9 時から夜 6 時までの活動時間後に、夜遅くまでの作業が必要となりました。太陽光発電は、京セラさんの 10 年保証のお蔭で前と同じパネルが屋根に並び、売電量は 42kwh となりました。作業倉庫は元の機能に戻り一挙に 800kwh も使用量が減りました。

平成 19 年は太陽光発電パネルを大幅に増設したお蔭で、電力会社からの使用電気量（購入電気量）が 200kwh も減りました。太陽光で発電した電気で、直接蛍光灯等を動かした訳です。売電量（余った電気を販売した）も 307kwh と大幅に増えました。

平成 20 年は太陽光発電パネルを再度 28 枚増設したことで、使用量の減少と売電量の増加が見られます（16kw のパネルとなりました）。21 年は、年末で流工業さんが作業場を移転され、その後を家具倉庫として活用するための準備で使用電力量が増えました。

平成 22 年は、家具倉庫の照明水銀灯を常時点灯させたので使用電気量が 200kwh も増え、7 月から活動時間を朝 10 時から夜 7 時に変更したことで売電量が増えました。

平成 23 年は、暗くて見えにくい場所を解消させるために、新館建物の照明と作業倉庫の照明を増やしたことで、使用量が増え、売電量が減りました。

平成 24 年はトイレ等の照明を電球型 LED に替えたことで若干使用量が減り、平成 25 年は、そろそろ寿命を迎えた家具倉庫（元流工業所）の水銀灯を LED 灯に交換したことで使用電気量が減り、4 月に自動販売機を省エネタイプに替えて頂いたことで、新館使用電気量も減りました。

平成 26 年は、平成 27 年春、新館の 110W 蛍光灯（40W 蛍光灯も）が寿命になるのを見越して LED 灯に交換したことで 230kwh の使用量減、太陽光発電売電量も 50kwh の増となり、同じく作業倉庫の 110W 蛍光灯（40W 蛍光灯も）も LED 灯に交換したことで 250kwh の使用減となりました。蛍光管寿命が 12000 時間、LED 灯が 40000 時間、交換コストと電気使用量減を考え合わせると、LED 灯変更のコストアップも、充分元が取れる時代となりました。これもノーベル物理学賞受賞者、中村・赤崎・天野さん 3 人のお蔭というものです。

平成 27 年 2 月末で火災から 10 年が経ちます。この 10 年を電気使用量と電気売電量から眺めてみると、その時その時の光景や情景が、リアルに浮かんでくるから不思議です。

諸々のドラマが展開し、色々な方々の出入りがあり、様々な人たちの支えによって、ここが成り立っていることを、改めて想います。

定休日変更、及び冬期休業のお知らせ

スタッフ体制の変更に伴い、平成 27 年より一時的に定休日を変更させていただきます。皆様にはお不便をおかけすることになるかと存じますが、よろしくお願い致します。

定休日:毎週水曜日 祝日 毎月第2・第4火曜日
冬期休業:12月 29 日(月)~1月7日(水)

新年の活動は1月8日(木)からです。なお、1月 12 日は祝日のためお休みですが、1月 13 日は第 2 火曜日ですが通常通り活動します。

宿泊研修 2014 in 名古屋 報告

平成 26 年 11 月 17 日(月)～18 日(火)、財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加を促進する事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。参加者は様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 27 名です。

今回の研修では「わっぱの会」(愛知県)の見学を行いました。

43 年の歴史を持つ同会は、「差別のない社会 共生・共働・共育の社会 相互扶助の社会」を目指し、就労継続支援 A 型・B 型事業所、生活援助ネットワーク、障害者就業・生活支援センター、共同生活体、資源リサイクルセンター、デイサービスセンター等を、名古屋市及び知多郡にて運営しており、ハンディのある人ない人合わせて約 200 人が働いています。また共同連の事務局を担い、社会に向けた働きかけや発信も積極的に行っています。

同会の看板事業であり、30 年の歴史を持つ国産小麦・無添加パンの製造販売は固定ファンに支えられており、生協やスーパーなどへの卸売販売が 3 分の 2 を占めているそうです。小麦粉・バターの高上がりやノントランス脂肪酸マーガリン導入による原料費上昇、年々厳しくなる衛生管理の要求、など、パンの製造販売を取り巻く現状もお話し頂きました。

名古屋市からの委託を受けて行っている「リサイクルセンター」では、ペットボトル再生のための異物除去・圧縮を行っていました。建物設備は市の所有で、光熱費も 3 分の 2 は市が負担しています。パンの販売が頭打ちとなる中で、新たな働く場として、15 年前にスタートしました。比較的若い世代の 30 代、40 代の方が多く働いているそうです。

どちらの事業も知的ハンディの方がほとんどで、精神的ハンディの当事者の方は、農作業を行っている就労継続支援 B 型事業で働いている方が多いとのことでした。



国産小麦使用の無添加パンの製造 30 年の歴史を持つ、わっぱの会の看板事業の一つです

「わっぱの会」の、他にはない特徴の一つとして、収入の分配方式があります。能力差別につながる、との理由から、能力給方式は採らず、ハンディのあるなしに関わらず（指導員、利用者といった分け隔てをせず）、同一時間の労働に対しては同一の賃金を保障していくことを実践しています。

事業収入の拡大と高齢化問題（新規受入停止と平均年齢上昇）への対応という課題がある中で、多様な事業展開によって、「共に生き、共に働く」実践の模索を真摯に続けておられると、感じました。

代表の斎藤さん自ら5時間かけて、7か所の事業所を回り、それぞれの事業の説明をして下さり、太陽と緑の会スタッフ・メンバーからの山のような質問にも一つ一つ丁寧に答えて下さいました。

今の活動をゼロから創り上げてきた方から、運営的な課題や今後の方向性について、示唆に富んだお話しをお聞きする機会が得られたことは、本当に有難いことと思います。

指導する側される側といった分け隔てをせず、共に働く関係を大切にしていること、働いている方の表情が生き生きとしていること、など、太陽と緑の会の実践と重なるところもありました。

当会のメンバーにとっても、日々の活動を違う角度から見つめ直すよい機会になったのではないかと思います。

斎藤さんをはじめ、お忙しい中、貴重な時間をさいて下さった皆様に、この場を借りてお礼申し上げたいと存じます。



ペットボトル再生のための異物除去・圧縮（リサイクルセンター）

太陽と緑の会からの助成(41回)

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金(古紙1キロに対し5円、鉄屑、空き缶1キロに対し6円、ウエス1キロに対し10円、廃食油1キロに対して20円)平成25年度前期分(平成25年後期配分)34万1700円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。

これを各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

①障害者福祉活動への助成

NPO法人共同連(差別とたたかう共同体全国連合)(社会的事業所の法制化に向けた取り組みなど)6000円

NPO法人 ほっとハウス(地域活動支援センターの運営など)(徳島市)1万円
徳島県精神障害者家族会連合会5000円

社会福祉法人ありのまま舎(宮城県仙台市)(東日本大震災に伴う在宅重度難病者支援活動に対して)23万7338円

②社会福祉活動への助成

徳島市社会福祉協議会5000円

③国際協力活動への助成

モヨチルドレンセンター

(ケニアにおけるストリート・チルドレンの支援活動)5万円

徳島県国際交流協会5000円

④その他の活動への助成

NPO法人徳島県ボランティア協議会(ボランティア活動の普及を推進する活動)5000円

シーズ(市民活動を支える制度を作る会)1万円

支援金振込手数料362円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、累計1274万3576円の助成を行ってきました。



写真で見る30年⑩電化製品の修理コーナー

左・20年くらい前(入口入ってすぐの左側にありました)

右・12年くらい前

主に、杉浦が使用。ボランティアの笠井さん(現パート職員)も時々修理作業に来てくれました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2014年10月1日～2014年11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

板東、匿名、板東、匿名(郵便振替口座に入金して下さった方) 太田、宮崎、北岡、大谷、中村、瀧倉、伊地知、白根、大西、榎本、秋山、野田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○Dコム、藤井、阿部、亀谷、浜口、乙武、板東、川村、宮地、新居、中山、宮越、橋本、武市、福田、重井、桑村、田岡、長尾、月岡、ホワイトリース、渡辺、小川、薩摩、奥野、北野、臼杵、井口、工藤、常松、山本、富島、篠原、浅野、西谷、大北、河野、中村、先山、大西、宇治、杉本、南、大槲、泉、角尾、岡本、高山、桐川、元木、徳島市農協機械センター、川又、卯坂、乃一、曾木、八巻、高橋、加藤、森、藤澤、富士谷、佐藤、田中、川野、小倉、谷田、村島、楠本、迂沢、三宅、林、森下、大上、西野、中野、和田、郡、久積、脇村、竹中、青木、幸田、山上、三好、谷、仁尾、大住、サルーテ、三木、平山、高谷、森崎、井上、斉藤、川島、溝抗、富登、坂田、米田、仁木、福家、黒川、大神、楠、桑島、岸岡、永浜、斎木、里見、西、山下、金田、下内、木村、小林、横山、今津、東條、島本、野々瀬、佐古、森東、重本、田村、土肥、水口、水谷、子ケツト徳島、藤岡、パソQ、近藤、清水、畑、松原、高島、佐々木、三吉、キム、後藤、野口、児島、前原、ワークスタッフ、松下、水間、金平、倉田、西尾、富登、総合看護学校、宇治製薬、高濱、永長薬品、増田、川真田、川瀬、平尾、寺尾、矢部、長谷、平田、七條、原田、古金、高井、山田、鈴江、岡山、杉山、西野、野口自動車、吉岡、野中、井原、宇治、野本、富永、坂野、森宮、丸岡、和泉、竹内、門田、桐本、土井、岸、植田、木内、古川、真鍋、播磨、山内、三原、竹丸、五島、米原、武知、井筒、安土、増金、広瀬、熊本、桜井、浜出、辻本、吉田、有限会社 空間谷野、西野電気、長谷部、わかくさ幼稚園、田所、柿原、石本、松内、石塚、平野、近藤整形外科、曾根、井関、濱田、工藤内科、松本、瀬河、安洲、坂口、新田、大柴、高岡、富田、八村、笠井、行部、松並、竹本、米沢、佐伯、池田、佐川、小松、新見、あすかデイサービスセンター、岩佐、谷広、端野、恩地、真木○石井町○近藤、伊藤、友成、宮田、勝浦、奥田、中岡、福本、溝抗、浜田、伊藤、豊崎、立石○鳴門市○久龍、石井、岡本、斉藤、佐々木、正木、大和、庄野、是常、中谷、寺西、石原○小松島市○溝口、荒木、小林、内藤、森、金村、岩本、池添、岡本○阿南市○友成、米本、天羽、住瀬、上原○藍住町○森、田井中、田中、松村、古川、阿部、日下、石躍、秦、宮本○北島町○山田、加地、工藤、飯坂、加地、結城○吉野川市○佃、登、武田○上板町○横山、宮崎○松茂町○川道

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○浦、坂本、待田、象潟、加藤、湯浅、佐野、玉田、山川、元木、宮地、井上、四宮、福盛、山花、森、佐藤、藤原、高松、森本、久次米、日河、馬場、瀧山、喜多、野々瀬、佐々木、春田、林、(株)誉建設、石田、松家、堤、池本、木戸、堀川、森崎、長野、田和、芝井、為実、杉本、武岡、山岡、朝日、荒木、田中、生田、宮野、東條、中栄、湯村、川尻、谷田、七條、神下、月岡、黒田、武市、石川、近藤、阿部、菅原、津田、鎌田、田村、大石、折野、栗林、今井、大下、盛、江口、森下、三木、笹倉、永松、杉井、吉本、鈴江、長田、藤黒、板東、河崎、宮本、原田、片岡、山田、合田、上田、竹内、川村、播六井、長谷川、松本、民、杉田、柴折、米原、道浦、武田、三好、吉岡、西野、北川、(有)マイロード、宮崎、村崎、芝商事(株)、尾形、横田、梶村、浜洲、清水、嶋田、和田、岸岡、安藤、今獅子、楨内、大隅、平岡、長尾、大畠、安芸、土内、岡本、久保、市原、米田、高橋、吉田、中尾、栗田、大貝、長谷部、今川、沖津、萬玉、平田、岡田、(有)マイロード、大崎、平山、泉、明野、岩井、松内、平佐、為実、酒井、橋本、島、金平、堀金、堀岡、大島、栗尾、西岡、井内、小松、加来、岸野、増田、勝田、村賀、宮下、松田、福家、吉成、豊岡、国、小林、喜田、青木、桑原、藤田

中井、漆原、松尾、橘、大磯、川野、白川、木本、エルダンド、国府町商工会 女性部、吉野、岩森、永井、中平、磯前、谷口、佐古小学校、前川、小濱、土居、櫻井、伊藤、楠、南井上FC、丸山、大櫛、戸川、相原、竹原、かもな園、川人、小田、山口、池口、榎本、嶋津、安東、篠原、小櫻、中川、中坂、志尾、瀧本、カルンガル、谷、山下、星合、梶崎、小畠、坂橋、土橋、藤岡、上野、徳永、金平、多田、渡辺、住友、新城、沢井、西川、東口、芦田、○藍住町○松島、横田、岩本、高原、楠木、秦、原田、石川、森本、山本、湯浅、浅川、井上、吉田、河野、藤田、水口、濱、植村○阿波市○山本、中村、割石、片岡、岡田、八尾○板野町○秋津、藤井、長尾、枝川、瀧下○小松島市○芝原、切中、木崎、藤田、松浦、赤澤、寺田、松本、新居、米田、岳野、富内○美馬市○荒井、大福○阿南市○間谷、橋本、岡本、住瀬、廣浦、阿南市羽ノ浦消費者協会、細川、吉田○佐那河内村○日下○那賀川町○小濱○勝浦町○森本○吉野川市○麻植、有持、小牧、長瀬、平島、福田、小松、日野、畠山、松原○つるぎ町○藤田○上板町○宮本、快樂、小竹、村上、山田、天野、加島、フロスト○鳴門市○合田、元木、成瀬、曾我部、岩生、山本、原田、山本○北島町○岩木、岡本、南、北島町社会福祉協議会、今市、中村○石井町○リサイクルパワー、武市、以西、山口、岸田、田中、嶋田、植田、佐藤、後藤、村本、戸田、西内、石井教会、黒田、久米、天羽、児島、中内、中倉、早瀬○海陽町○北村○牟岐町○古藤○愛媛県○浜田、水田○岡山県○高橋○愛知県○三浦○静岡県○杉本○東京都○高坂、木戸○香川県○矢部○奈良県○中川○埼玉県○本田○千葉県○石塚

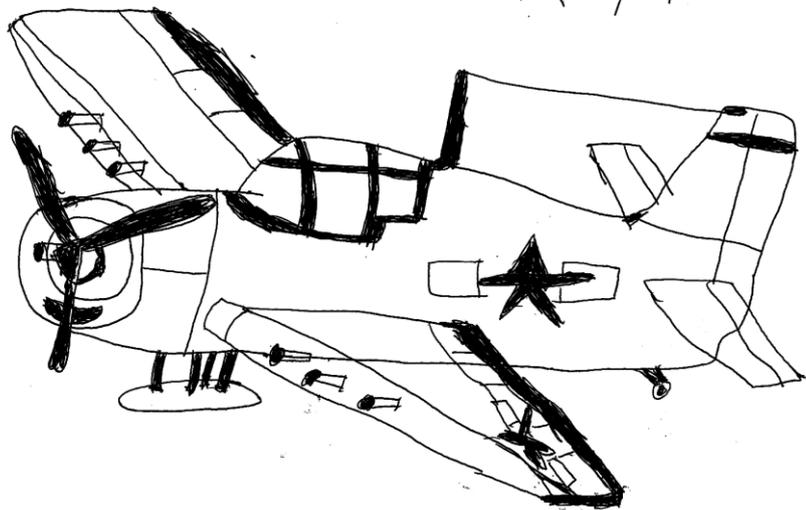
いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またみかんを差し入れして下さった多田様(宿泊研修でも活用させて頂きました)、柿を持って来て下さった三木様、カレー、ポテトサラダをメンバーたちの昼食に、と持って来て下さった河野様にもこの場を借りてお礼申し上げます

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

F6F-35 ヘルキャット



ヘルキャットは太平洋戦争中にゼロ戦とたたかいました。自分は空母エセックスにとりこまれている写真がよかったです。

文・イラスト 藤田さん

編集後記～「風」

福祉を専攻する大学2年生が、2日間、職場体験実習に来てくれた。メンバーの中に溶け込んで、一緒になって汗を流す姿が印象に残った。

「一般の社会ではじかれた人たちと一緒に社会に出ていく仕事だと思いました」

「とても開放的で自律的な施設でした。公的にあまり守られていないかわりにチャンスがたくさんあるような施設として回っていて、素直にすごいと思いました。支援者と利用者といった関係でなく、同僚のようにいられる場所でとても良かった」

サラリと感想を残して帰途につく彼女の姿に、外からの風の意味を改めて思う。

根付いて行くスタッフもいれば、次のステップに向けて巣立っていくスタッフもいる。

「短いスパンで、新しい風を吹き込み、確かな足跡を残してくれる人」

「即戦力ではないが、長く関わることで力を発揮してくれる人」

それぞれが織りなしてきた「歩み」があり、「今」がある。(文責・小山)

本年もあとわずかとなりました。

30周年を迎えた今年は、ベネズエラから11名の皆様が見学に来られ、スペイン語の通訳が入り英語で活動説明するというスペシャルな経験から始まりました。

消費税が5%から8%に上がり、外税表示に切り替える一般店舗も多い中、市民の皆様への分かりやすさを優先し「税込価格」表示の継続を決めました。3%の増税分を当会がかぶる、という厳しい選択でしたが、おかげさまで、今年は何とか持ちこたえることができました。

14回目となる「鮎喰川クリーンアップ」、5回目を数えた「東日本大震災支援 おおたか静流チャリティライブ」など、微力ではありますが、継続することの意味を改めて思います。

また、30周年記念同窓会では、ワークキャンプ・体験ボランティアに参加された方や一年間ボランティアとして活動された方が集まり、それぞれの「今」を再確認する機会を持ちました。

来年は、太陽と緑の会にとって大きな節目の年となります。スタッフ体制の変更に伴い、定休日も変更し、皆様にご不便をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともよろしくお願い致します。

なお、本誌をもちまして、新年のごあいさつに代えさせていただきます。新しい年が、皆様にとって幸ある年となりますように。

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
088-642-1054 (リサイクル)
URL <http://www.t-midori.org/>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
データ入力・製本・発送 岡田 福住 宇津

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703